

平成 23 年度地域自主戦略交付金に係る成果目標

(地方公共団体名: **熊本県**)

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
1	<p>社会資本整備重点計画の中で、「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき整備を行っている円滑化対策事業のうち、地方道の新設・改良等に伴い整備が必要となる、信号機、道路標識・標示の整備を行うことで円滑化を確保し、交通事故防止を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号機の新設～4箇所（定周期式2、押ボタン式2） ・ 信号灯器のLED化～18箇所 ・ 信号機改良～10箇所 ・ 信号柱移設～10本 ・ 道路標識～オーバーハング式28本、照明灯付横断歩道標識2本 路側標識475本 ・ 道路標示～横断歩道21km、実線16km、車線分離併用標示1km 	H23	—	交通安全施設整備に関する事業	
2	<p>工業高校の電気の学習で使用する高電圧実験装置を整備し、交流高電圧や衝撃高圧等に関する知識・技術を習得させることにより生徒の工夫創造の能力を養い、経済自立に貢献する有益な産業人を育成する。</p>	H23	—	学校施設環境改善に関する事業	

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
3	<p>【目標】 熊本の高品質かつ安全・安心な農林水産物を継続して生産できる「魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業」を実現するため</p> <p>(1) 農業農村分野では、農地や農業用水などの農村資源の保全管理に配慮しつつ、営農や地域の特性に応じた農業生産基盤整備、農村地域の防災対策や生活環境の整備を行い、生産性の向上による耕地の有効利用、飼料自給率の向上、多様な担い手の育成、災害に強い農地の形成を図る。</p> <p>(2) 森林分野では、間伐等による適切な森林整備の促進と森林の荒廃を未然に防止することにより、二酸化炭素吸収量の確保や農業用水の安定的な供給、漁場環境の向上など多様なニーズに応えるため森林の持つ多面的機能の維持増進を図る。さらに、林道等の路網の整備を行い、集約化施策を加速化することにより、森林施策の低コスト化を図る。</p> <p>(3) 水産分野では、高潮、波浪等から国土を保全するとともに漁場の整備を実施し、漁港、漁村地域の施設及び住民の生命・財産を守り、水産業の効率性、生産性の向上と併せて安心・安全な経済社会活動を支える。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>①生産性の向上により耕地の有効利用を図る。 実施区域の耕地利用率 現況 122%→計画 135% 実施区域の飼料自給率 乳牛 現況 36%→計画 48% 繁殖雌牛 現況 67%→計画 89%</p> <p>②基盤整備を契機として多様な担い手を育成する。 実施区域の担い手農家への農用地の集積率 現況 29%→計画 44%</p> <p>③農産物物流の効率化を推進するため通作条件等の改善を図る。 実施区域の農産物物流改善面積 現況 2,110ha→計画 3,430ha</p> <p>④災害に強い農地や施設を整備する。 実施区域の災害防止面積 現況 7,720ha→計画 13,950ha</p> <p>⑤路網整備により間伐材の利用量を増加させる。 搬出間伐の割合を増加 現況 41%→計画 53%</p> <p>⑥山地災害防止機能を高める。 山地災害防止確保集落数の増加 現況 1,358集落→1,408集落</p> <p>⑦漁港、漁村地域の安全水準と安全係留施設の割合を高める。 災害(高潮、波浪、飛沫)に対して安全水準確保地区面積の増加 現況 17ha →計画 32 ha 大浦元浦漁港における安全係留施設割合 現況 70% →計画 89%</p> <p>⑧魚礁施設整備によるマダイ、マアジ等の漁獲量増加 3.7t</p>	H26	—	農山漁村地域整備に関する事業	<p>農林水産省所管の農山漁村地域整備交付金の農山漁村地域整備計画と一体的計画として目標及び定量的指標を設定している。</p> <p>「熊本県農山漁村地域整備計画」の公表先 http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/74/seibikeikaku110628.html</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
4	<p>【目標】 持続可能な養殖業の推進</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草南漁場の漁場行使率（養殖密度）13.2%を維持 ・嵐口漁場における漁場行使率（養殖密度）12.9%を維持 	H26	—	農山漁村地域整備に関する事業	
5	<p>【目標】 漁港施設等の整備による安全で快適な漁業地域の形成</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大鞘漁港における利便性向上に対する漁業者の満足度 現況35%→目標55% ・牛の水漁港における漁具修理に伴う所要移動時間 現況20分→目標 0分 ・蔵々漁港、貝場漁港及び横浦漁港における物揚・準備作業に係る所要時間の短縮 現況30分→計画15分 ・白戸漁港及び烏帽子漁港における荒天時に他港へ避難を要する漁船隻数 現況39隻→計画10隻 ・栖本漁港における高齢・女性就業者の施設利用割合 現況19%→計画48% 	H28	—	農山漁村地域整備に関する事業	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・農村及び漁村集落の生活環境を改善し、快適な暮らしを創造する。 ・整備計画対象となる農山漁村8地域において、生活環境が改善される人家戸数を3,100戸増加される。 	H26	H24	農山漁村地域整備に関する事業	農山漁村地域整備計画(熊本県農山漁村生活環境改善プラン) http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/100/nousangyoson201009.html
7	<ul style="list-style-type: none"> ・農村及び漁村集落の生活環境を改善し、快適な暮らしを創造する。 ・整備計画対象となる農山漁村8地域において、生活環境が改善される人家戸数を3,100戸増加される。 	H26	H24	農山漁村地域整備に関する事業	農山漁村地域整備計画(熊本県農山漁村生活環境改善プラン) http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/100/nousangyoson201009.html

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
8	<p>【目標】 平成23年春の九州新幹線開業効果を最大限に発揮するため、道路交通ネットワークの充実や関連施設の整備等を促進し、慢性的な交通渋滞の解消や観光交流の促進を図るとともに快適で品格ある都市空間を形成することにより、熊本都市圏の拠点性を向上させる。</p> <p>【定量的指標】 交通渋滞が都市圏内の社会経済活動に与えている損失額（渋滞損失額）が1,736百万円（H21）から847百万円（H25）に削減</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/katuryoku-toshiken.html)
9	<p>【目標】 歴史的価値が極めて高い国指定史跡・鞠智城、日本最大の装飾古墳群、世界最大級のカルデラを誇る阿蘇山など、多くの史跡や雄大な自然を抱える県北地域において、文化と歴史の薫り高い観光地の形成とともに、回遊性のあるルートづくりを通じて、国内外からの観光客の誘致を図る「歴史回遊くまもと観光立県」を推進する。</p> <p>【定量的指標】 県北地域の回遊性のあるルートにおいて、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を68.2%（H21）から71.9%（H25）に向上。</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/kairou-kenhoku.html)
10	<p>【目標】 国宝青井阿蘇神社、キリシタン文化、妙見祭など、多彩で豊かな歴史・文化を誇る県南地域において、回遊性のあるルートづくりを通じて、国内外からの観光客の誘致を図る「歴史回遊くまもと観光立県」を推進する。</p> <p>【定量的指標】 県南地域の回遊性のあるルートにおいて、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を55.6%（H21）から58.1%（H25）に向上。</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「歴史回廊くまもと観光立県の推進（県南地域）」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/kairou-kennan.html)
11	<p>【目標】 少子高齢化の進展に適切に対応し、県民誰もが快適で安心して暮らせるよう、快適で円滑な通行空間の確保等を行うことにより、県民一人ひとりが健やかに生きがいを持って力を発揮できる社会の実現に向けた取組みを推進する。</p> <p>【定量的指標】 県民誰もが快適で安心して通行できる道路（歩行）空間の整備率を39.0%（H21）から41.7%（H25）に増加。</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「長寿安心くまもとの実現に向けた社会づくりの推進」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/choju-anshin.html)

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
12	<p>【目標】 災害から県民の生命財産を守り、大規模災害発生時の被害を最小限にとどめるため、防災・震災対策を着実に実施し、県民が安全で安心できる避難体制の構築を進める。</p> <p>【定量的指標】 県民が安全で安心できる道路の割合（あんぜん・あんしん通行確率）を24%（H21）から38%（H25）に改善。</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「安全安心で住みやすい社会の実現に向けた防災対策の推進」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/anzen-anshin.html)
13	<p>【目標】 港湾は、食料品、工業製品やエネルギー資源等の取扱いが多く、世界各地から運ばれたり、全国各地の港湾と貨物のやり取りを行っており、知己経済の底支えをする物流拠点である。 また、観光、通勤・通学など、人物拠点の役割も担っている。このため、港湾の整備促進を行い、地域経済活動及び観光等の活性化を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県の管理港湾での物流量（取扱貨物量）を590万t（H22）から625万t（H26）に増加 ・熊本県の管理港湾での人物量（乗降客数）を305万人（H22）から320万人（H26）に増加 ・荒尾市の管理港湾における港湾施設の長寿命化計画策定率を0%（H22）から100%（H26）に増加 	H26	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「港湾による県内の地域経済活動及び観光の活性化」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/katuryoku-kowan.html)
14	<p>【目標】 災害から地域住民の生命財産を守るため、避難路確保のための対策を着実に実施し、地域住民が安全で安心できる避難体勢の構築を進める。</p> <p>【定量的指標】 地域住民が安全で安心に避難できる避難路の整備率を0%（H22）から52%（H27）に改善する。</p>	H27	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「荒瀬ダム周辺地域における安全安心で住みやすい社会の実現に向けた対策の推進」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/katuryoku-arase.html)

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
15	<p>【目標】 集中豪雨の多発に伴う被害リスクの増大に対し、河川・砂防施設整備によるハード対策及び台風時や冬季波浪に対する海岸施設整備によるハード対策に加え、警戒避難体制等の整備によるソフト対策が一体となって総合的な治水対策を実施することにより、安全・安心な市民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防施設整備による保全人家戸数を23,291戸（H22）から25,138戸（H26）に増加 ・土砂災害警戒区域等の指定数1,723箇所（H23）から5,000箇所（H26）に増加 ・近年出水により床上浸水被害が生じている人家戸数823戸（H22）を682戸（H26）に解消 ・情報基盤総合整備事業で設置した水位計を62箇所（H22）から66箇所 ・特定構造物改築事業により河川管理施設の長寿命化計画の策定数を0施設（H22）から5施設（H26）に増加 ・越波被害により浸水が生じる可能性のある家屋数を102戸（H22）から0戸（H26）に減少 ・老朽化により防護機能が著しく低下している施設数を4施設（H22）から0箇所（H26）に減少 	H26	—	社会資本整備に関する事業	<p>社会資本整備計画 「熊本県下における総合的なハード・ソフト一体となった治水・土砂対策の推進」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so shiki/91/mizu-tisui.html)</p>
16	<p>【目標】 「くまもとの夢4カ年戦略」に掲げる「健全な水循環と水環境の保全」の実現に向け、下水道を整備して公共用水域の水質保全と快適で暮らしやすい生活環境を創造する。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率を60.8%（H22）から63.9%（H26）に増加 ・下水道による都市浸水対策達成率を32.6%（H22）から34.6%（H26）に増加 ・合流式下水道改善率を7.1%（H22）から100%（H26）に増加 ・下水道長寿命化計画策定率を0%（H22）から53.8%（H26）に増加 ・改築工事（長寿命化含む）実施率を40.3%（H22）から48.0%（H26）に増加 	H26	—	社会資本整備に関する事業	<p>社会資本整備計画 「熊本県の下水道による健全な水循環と水環境の保全」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so shiki/91/mizu-gesuido.html)</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
17	<p>【目標】 各地域間の連携や物流の促進による地域の活性化、九州新幹線全線開業を景気とした来訪者との交流促進を図る。</p> <p>【定量的指標】 ・阿蘇、天草方面への道路の走りやすさ（☆5段階評価）を☆3（H18）から☆4（H24）に向上 （※道路利用者へのアンケート調査等による評価） ・県内宿泊施設の宿泊者数を672万人（H18）から750万人（H24）に増加 ・県内企業の製造品出荷額を2.8兆円（H18）から4.0兆円（H23）に増加</p>	H24	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「全県地域広域的な地域活性化基盤整備計画」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/sigaiti-tikatu.html)
18	<p>【目標】 熊本県及び市町における都市公園の現状は、一人当たりの整備面積が9.5㎡/人と全国平均に達しておらず、今後も防災機能強化などの住民の多様なニーズに対応した公園の整備が必要であるとともに、既設公園の老朽化した施設の改修やバリアフリー化も求められている。 そのため、当面10.0㎡/人を目指して都市公園やカントリーパークの整備を進めるとともに、園路広場やトイレ、駐車場等のバリアフリー化や、既設公園の改築更新を行うことにより、高齢者や障害者、子供や保護者など誰もが使いやすい公園にリニューアルされ、より一層の利用促進が期待される。</p> <p>【成果目標】 ・一人当たりの都市公園面積を9.5㎡（H22）から10㎡（H25）に増加 ・園路のバリアフリー達成公園数を66%（H22）から72%（H25）に増加 ・駐車場のバリアフリー達成公園数を58%（H22）から64%（H25）に増加 ・トイレのバリアフリー達成公園数を23%（H22）から40%（H25）に増加</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「都市公園の整備推進と安全安心化」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/91/sigaiti-koen2.html)

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
19	<p>【目標】 熊本に住んでよかったと思える豊かな住生活を実現する。 住宅・建築物の耐震化やアスベスト対策等を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的賃貸住宅におけるユニバーサルデザインに対応した住宅のストックの割合を16% (H23) から20% (H27) に増加。 ・ 新築着工戸数における長期優良住宅の認定戸数割合を20% (H23) から25% (H27) に増加 ・ 市町村住宅マスタープラン等の策定数を22市町村から30市町村に増加。 ・ 計画期間内における木造公的賃貸住宅の着工床面積累計を13.4千㎡とする。 ・ 情報発信源へのアクセス件数累計 (H17からの累計) を180千件 (H23) から270千件 (H27) に増加。 ・ 熊本県全域における耐震性が確保された住宅の割合を72% (H23) から90% (H27) に増加。 ・ 県民の地域づくりに対する満足度 (住環境整備に関する指標として利用) を34% (H23) から40% (H27) に増加。 	H27	—	社会資本整備に関する事業	社会資本整備計画 「熊本県住宅・住環境整備計画 (熊本県全地域地域住宅計画)」 (http://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/102/tiikijutaku.html)